

信じて送り出した雪風が  
外国人司令官に寝取られる話









一週間後

ガク

提督 お茶が入りましたよ

おお  
ありがとう

すまんね  
雪風が戻ってくる  
までの間とはいえ  
秘書艦の仕事  
急に任せてしまって

いいのいいの

あの子のほうが  
慣れない土地で  
苦労してるんだから  
私も  
頑張らなきゃね



フツ

軍の上層部から  
以前雪風の前に  
この鎮守府で秘書艦を  
務めていた艦娘に宛てて

慰勞の言葉を  
動画で撮るよう  
指示があったんだ

俺もよく  
世話になった  
艦娘だな

快諾したよ

そう  
それなら私が  
カメラ持って  
あげるから

いや、  
着任中の秘書艦と一緒に  
映るよう指示されてな

なんで？

知らん

ふうん……



提督う  
そんなこと  
言っ  
て  
も  
し  
か  
し  
て  
え

雪風とする  
みたいに私とも

えっち

な動画を  
撮りたいだけ  
のお？

提督のスマホの中身  
知ってるんだよー？

ブツ……！

な、なに  
言ってるんだ！

ていうかそれ  
誰から

へーん！

島風、カメラ  
とってきまーす！

ったく……

雪風……  
早ければ  
そろそろ  
着いてる頃かな

君の無事を  
祈っているよ



某国鎮守府

総司令部から  
某国との合同作戦が  
行われるとの  
連絡がありました

その一環で  
交換留学をするらしく  
雪風は代表として  
やってきたのです！

おっかしい施設…  
せつかく受付で…  
執務室までの道を  
聞かされたのに…  
迷ったらしいそう…

あら…

あなた…  
もしかして…

そう…  
あなたが新しい  
“留学生”ね

あ、はい！

雪風です！  
よろしく  
お願いします！

…よろしくね

…司令の執務室は  
廊下を右に曲がって  
すぐよ

?

…頑張っ  
てね

はいっ！  
がんばりますっ！

ありがとう  
ございました！

ってあれ？

そういえばさっきの  
教えてくれた子  
日本の演習で  
会ったことが  
あるような…

今度聞いてみよ





OH!  
そうかそうか!  
じゃあ最初の任務だ

こちらに  
来なさい

はいっ!

……はい?



あつ  
あの、これ……  
司令官……  
近い……です

HAHAHA!  
注文どおりだ!  
小柄な体に  
肉付きのいい太もも  
若々しい肌の張り  
スバラシイ!

注文……?  
あの、これは何を……?



失礼します!

本日着任しました  
陽炎型駆逐艦8番艦雪風です!!  
どうぞよろしくお願ひしますっ!

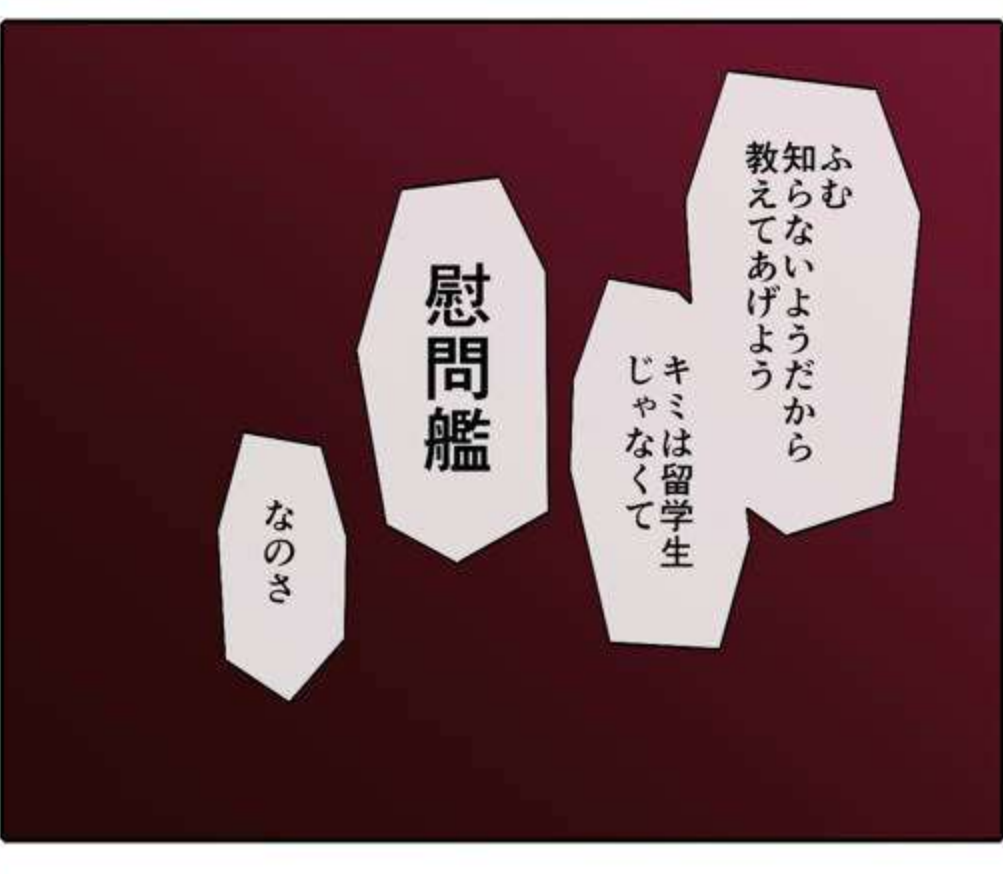
OH!こんなナリだが  
オレがこの鎮守府を統括している  
今日からよろしくな!  
キミがあの有名な  
幸運の女神様か!  
会えて嬉しいよ!

幸運の女神だなんて  
……照れちゃいます



着いて早速だが  
キミの任務は  
もう聞いているかね?

はい!  
交換留学生として  
いろいろ学んでこいと  
言われています!



慰問艦

ふむ  
知らないようだから  
教えてあげよう

キミは留学生  
じゃなくて

なのさ





軍総司令部から  
どう聞かされていたかは  
知らないが

まあキミの間抜けな  
使いっ走り司令官が

あ……ッ!

あぐっ……!  
悪く言うのは  
やめてください!

ともかくキミは  
オレの所有物に  
なっただよ

んぐっ!  
……やだあつ!

力が強くてぜんぜん  
振りほどけない……!



よく分かってない  
ようだね

正直、慰問艦というのも  
表向きの名目さ

率直に言うとな  
キミは

売られたんだ



え……  
うそ……!

嘘です  
そんなの!



優しいから……  
みんなが怪我を  
しないように……  
無茶な任務を  
させないように……!

HAHAHA!  
ほんと司令官様LOVE  
なんだねえ

ヤケド  
しちゃいそうだ  
^^

恨むなら日本の軍部  
ひいてはろくに戦果も上げず  
タダ飯を食らってる  
無能な上司を恨むんだな

そ、そんな……っ!



きやつ!

日本の軍部は  
随分金欠みたいでねえ  
しはしはオレのところ  
用立ててあげてるのさ  
軍は金を得て  
オレはその見返りに船を得る  
秘密裏に結んだ契約だ





でもね“慰問艦”には  
“慰問艦”の仕事をしてもらわなきゃ

いや……あっ！  
やめて……ください……



まあまあ  
この仕事にも  
すぐ慣れるさ  
他の日本艦  
みたいにね

もしかして  
さつき道を教えて  
くれた子も……



やだ……  
気持ち悪いよお……

助けて  
しれえ……っ！



そう、キミみたいな  
可愛らしい子を  
収集するのが  
オレの趣味でね

もしかして……

そして  
この指輪は

かつて彼女たちが  
着けていた  
婚約指輪だ  
全員オレの  
モノになってから  
“譲って”のさ  
もらったのさ

これはまだ  
ほんの一部だが

どうだ？  
イカすだろ？

そ、そんな……っ





大切な指輪なのに  
どうして、とでも  
思ってるんだろ？  
どうせキミだって  
すぐに身も心も  
オレのモノになるんだ

素直にオレの言うことに  
従ったほうがいいぜ  
そしたら  
下の口の取り扱い  
優しくしてやるからさ！  
H A H A H A !

やあ……っ！  
はなしてっ！

口では立派に抵抗してるが  
さっきから  
ブルブル震えてるぞ？

この小動物の  
ような可愛さ  
やはり日本の駆逐艦は  
スバラシイな！

さ……っ  
触らないで  
ください……っ

しれえから貰った  
大切な指輪……  
絶対にこんな人に  
渡すわけがありません！



さらにオレが  
強く抗議でもすれば  
どうなるかわかるかね？

オレがここで止めたら  
日本軍部との契約は  
破棄される

キミの上司と  
その上司を慕う  
仲間はみんな

バラバラだ

キミひとりの  
ワガママのせいだな

今までの日本艦たちは  
全員受け容れてきたんだぞ

しれえ……  
みんな……

そうなると  
その責任を負うのは  
キミの上司である  
愛しの司令官様だぞ

雪風は  
どうすれば……

……っ！





HAHAHA!

沈黙は承諾と  
受け取っていいな?

それじゃあ  
恭順の印を  
示してもらおうか

前例や慣習があると  
それに逆らえない……  
扱いやすくていい  
日本艦は

おっ  
おっ  
おっ

……ッ!

えっ……  
こ、これ……

これが男の人の……?  
しれえのと全然違う……

慰問艦なら何を  
すればいいのか  
分かるだろう?

さあ早く

雪風は――

ごしれえ  
なさい……



くっ……!

OH!  
その表情  
ゾクゾクくるね!

司令官以外の  
男の竿は  
初めてかい?

……っと  
そういえばキミの  
司令官はずいぶんと  
前時代的だったんだね

今時、式を挙げるまで  
操を守るだなんてさ!

だからキミは  
未だにヴァージン  
だと聞いたよ

こんなにも可愛い盛り  
に手を出して  
もらえないなんて  
可哀想で涙が  
出そうになるぜ!

HAHAHA!



はっ……あ

やだ……どんどん  
大きくなって……?!

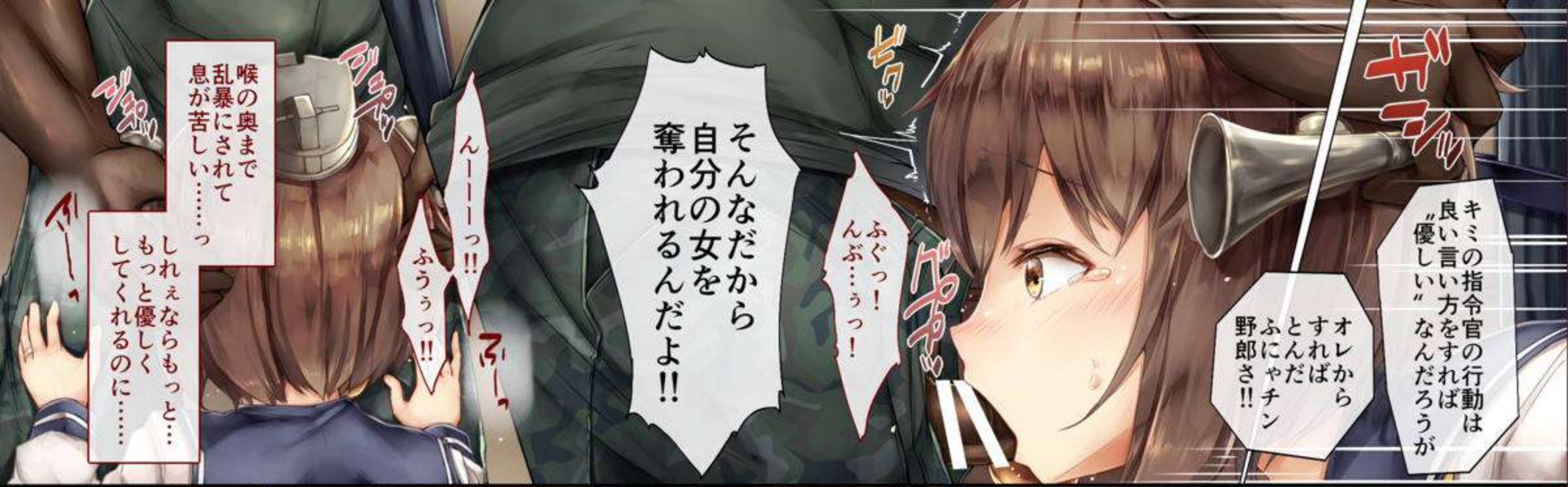
こんなのお口に  
入りきらない……

んっ……  
う……

ぐん……  
っ

ぶー





キミの指令官の行動は  
"優しい方"をすれば  
なんだろうが

オレから  
すれば  
とんだ  
ふにや  
野郎さ!!

そんなだから  
自分の女を  
奪われるんだよ!!

ふぐっ!  
んぶ...うっ!

んーっ!!  
ふううっ!!

喉の奥まで  
乱暴にされて  
息が苦しい...っ

しれえならもっとな  
もつと優しく  
してくれるのに...



い、いやあっ!  
待って!!

初めては  
しれえにっ

ほら、ヘソまで  
届くペニスが今から  
入っていくんだよ



ごほ...っ  
けほっ...

セックスに  
使う時間を  
フェラにでも  
充ててたのか?

なかなかいい  
舌と喉使い  
だったぞ



ではこれからは  
オレがセックスを  
教えてやろう

さあ立て!

ま、待っ



おらっ!  
出すぞ!!

んぶっ...!

んんーっ!

しれえ...  
会いたいよお...



うそ!  
やだあっ!!

あああっ!!

これがキミの  
初めてを奪った  
ペニスの感触だよ

よく覚えて  
おきなさい

ひ...あ...

やだ...っ  
入ってくるっ...

しれえ...

ごめんなさい...  
しれえ...



フウツ！  
さすがに  
キツキツだな  
半分しか  
挿入できない  
じゃないか！

抜いて…っ  
抜いてください！

だめだ

キミはもう  
オレの所有物だからな

オレの好きに  
させてもらう

あ…ぐうっ…！

雪風はしれえの  
お嫁さんになるのに…  
こんな…  
こんな…  
こんなのって…

どうせフェラやペッティング  
ばかりしてたんだろ？

ホンモノの快楽を  
味わってみるといい

あっ！

やあっ！

おつき…  
すぎ…っ！

おなか壊れ  
ちゃうう…っ！

HAHAHA!  
艦娘の身体は  
丈夫にできてるから  
この程度じゃ  
壊れないさ！

んくっ…  
くう…んっ！

そら！  
もう嬌声が  
漏れてるぞ！

ち、違いますっ  
これは…！

初めてでこれだけ  
挿入出来ただけでも  
大したものなのに  
感じるかなんてなあ  
できるなんてなあ

膣開発を念入りにしてくれた  
キミの上司に感謝しているよ

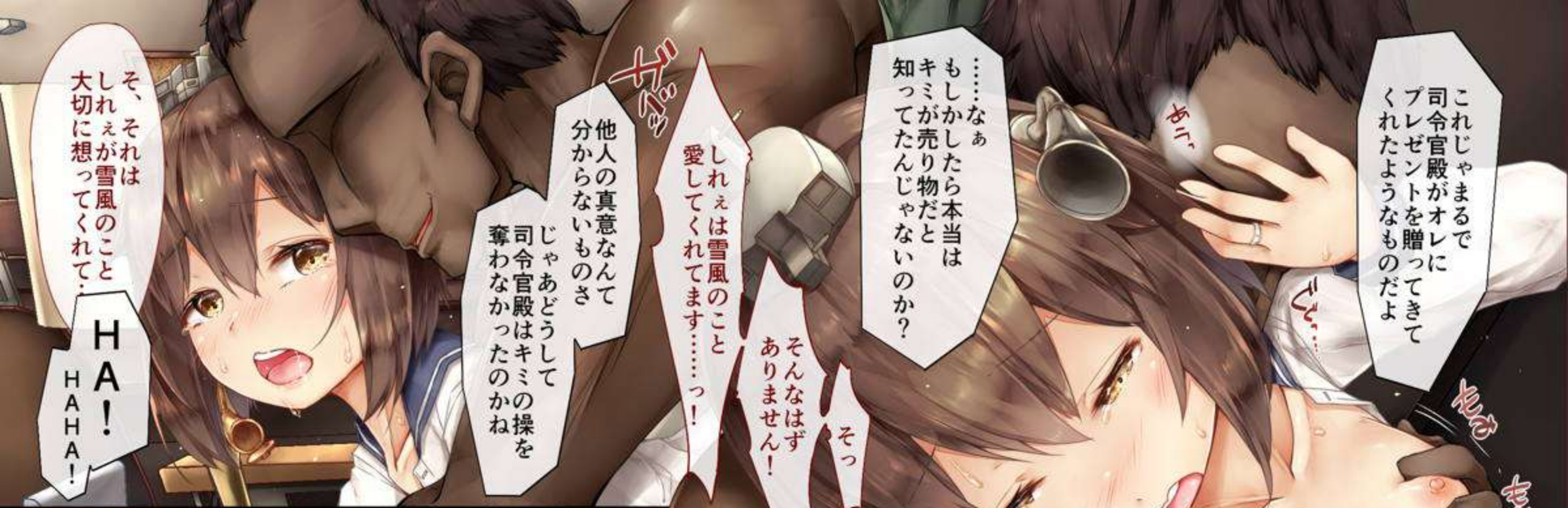
しかも

こんな  
食べ頃な  
果実に

手を出さず残しておいて  
くれるオマケつき！

いやああっ！





これじゃまるで司令官殿がオレにプレゼントを贈ってきてくれたようなものだよ

……なあもしかしたら本当はキミが売り物だと知ってたんじゃないのか？

しれえは雪風のこと愛してくれてます……っ！

他人の真意なんて分からないものさ

じゃあどうして司令官殿はキミの操を奪わなかったのかね

そ、それはしれえが雪風のこと大切に想ってくれて……

HA!  
HAHA!



男という生き物は本当に好きな女のカラダを味わいたいと思ってるものだからね

本当にかな

ち、違います！しれえはそんな人じゃありません！

は……



いいやね 違うやね

男のことは男がいちばん良く分かるのさ

しれえ…… 雪風は信じてます

しれえは雪風のこと愛してくれてるって……

く……うっ……！



まあこれからじっくり  
分らせてあげるよ

せかキユ

あぐっ

うあ……あ……

ああああっ!

そんな……

やだ……  
やだあ……っ!

中に……  
出されてる……

ひぐっ……  
ううっ……

まだ……  
出てるう……っ

お腹の奥で  
どくんどくん  
って……

フウッ!  
やはり日本の駆逐艦は  
具合が良いな!

ひああっ!

ほら、こいつがさっきまで  
キミのナカに入ってたんだよ  
よく頑張ったね

おまたがすごく  
じんじんする……  
それに頭が  
ぼーっとするし……

えっちの最中に  
何度も目の前が  
チカチカして……

こんなの知らない……  
怖いよ……しれえ……っ







もしオレが満足するまで  
耐えられたら日本軍部に  
取り計らってやってやるよ

そしたらいつか  
愛しの司令官のもとに  
戻れるかもな

しれえ……

でも……雪風  
がんばります

電話は自由に  
使っていていいぞ

ただし  
今回の件は  
絶対に  
他言するなよ

約束を破れば  
もう二度と  
祖国の土は  
踏めないと思え

しれえに……

会えるまで……



数週間後

HEY!  
ユキカゼ!

遠征  
ご苦労様!

帰投早々  
呼び出して  
すまないね!

できれば今すぐ  
入渠したいんですが……

HAHAHA!

何を言ってるんだ

“いつもの”  
秘書艦の仕事が先に  
決まってるだろ?



あの……

雪風に何か  
ご用でしょうか

遠征任務のせいで2日間も  
キミとセックス  
できなかったからね

もう我慢  
できないんだよ

キミも出発前夜は  
あんなに激しく  
喘いでただろ

ユキカゼの  
ここだって

寂しさに  
じゃないか?









今のキミには  
少々刺激が  
強いかもしれんが

愛しの司令官殿から  
メッセーじが  
届いてたよ

……と  
そういえば  
セックスに  
夢中で  
すっかり  
忘れてた

やはりキミの  
カラダは  
最高級品だね  
高い金を払って  
大正解だよ!

フウ……

ギィィィィィ



楽しみにしているよ

またいつか会う時があれば  
そちらの話聞かせてくれ

でも、新天地できっと  
上手くやってくれていると  
期待している

……元気にやっているか?  
こちらは相変わらずだよ  
私はキミから多くのことを  
学ばせてもらったことは  
君が居なくなつたことは  
本当に残念で仕方ない



秘書艦をやつたのなら  
筆跡で分かるだろう?

これが正式な  
譲渡同意書だ

う……嘘です!  
しれえは雪風のことを  
見捨てたりなんて……っ!

キミに向けて  
送られた  
元上司からの  
メッセーじだ

何って

何なんですか!

それから君が  
退任してから就いた  
新しい秘書艦だが

う……うそ……  
しれえの……っ  
う……う……  
う……う……

ギィィィィィ

ギィィィィィ









陰険だねえ……

ずっと怒りを隠して  
キミを捨てる  
復讐のタイミングを  
見計らってたんだよ

はま

う……っ  
やだ……あ

それにさ、

上官殿はもう  
隣に映ってたセクシーな秘書艦に  
乗り換えてるみたいだしなあ？  
HAAAA!

そんな……っ  
しれえ……

雪風を……  
捨てないで……



わかっただろう  
もうキミに  
帰る場所は無いんだよ

うう……っ

オレの  
秘書艦になる  
覚悟をしろ

……っ



しれえ……

雪風が他の男の人と  
えつちなことを  
してしまったから……  
悪い子になっちゃったから  
雪風を手放したんですか……？

しれえ……

雪風は  
しれえのこと  
今でも……  
いま……  
でも……





いま画面を  
タップすれば

すぐにでも  
司令官と  
会話できるぞ

ほら



もう…今日は  
ゆるしてえ……っ

いやあっ……

うああっ!

よっ……と



したくない……

……いまは  
しれえと  
お話……



とでも  
懺悔してみるか!

本当は  
他の男と  
セックス  
してました



あっ……

これからも  
ずっと可愛がって  
やるからな!



HA  
HAHA!

そうかそうか!  
お前を捨てた  
元のカレシなんて  
もうどうでも  
いいよなあ!

……っあ





ご苦労

預かってた  
携帯電話です

フウ……

ククッ……あの電話番号  
どうせ繋がっても  
このケータイだったのになア

無言で通話を切られた時  
どんな顔をするのか  
見てみたかったぜ

……これ

あの……



よし

行け!



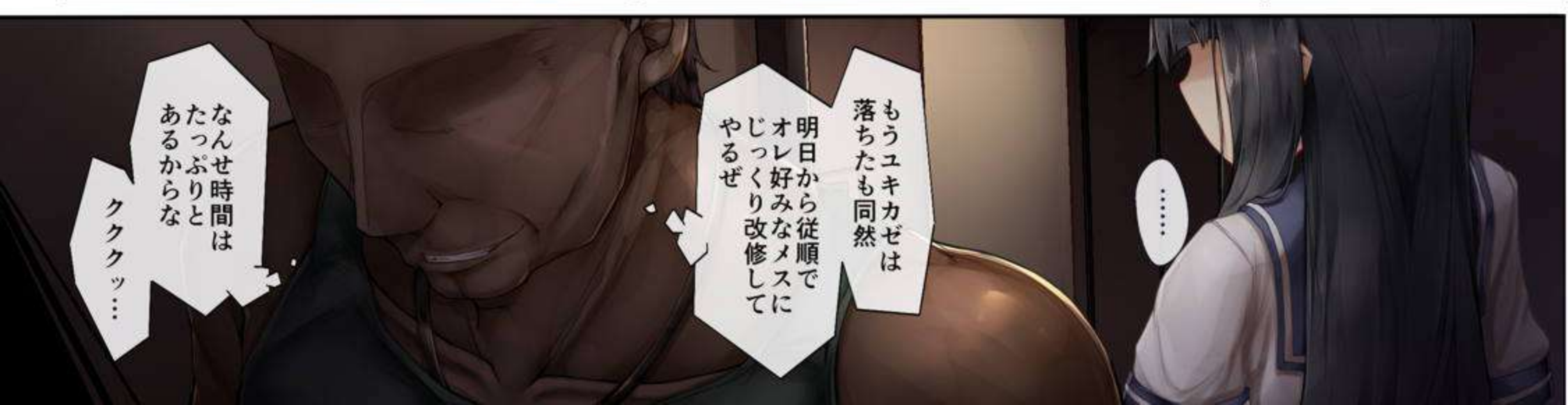
もし守らなかつたら  
お前と故郷に“制裁”が  
待ってるからな

……わかってます

……はい

もしユキカゼが  
電話を使いたいと言っても  
適当にはぐらかせ  
いいな?

ああそうだ  
事務部のやつら全員に  
言い渡しておけ  
これ以降あの日本の  
間抜け司令官から  
電話がかかってくるまで  
一切取り次ぐな



もうユキカゼは  
落ちたも同然

明日から従順で  
オレ好きなメスに  
じっくり改修して  
やるぜ

なんせ時間は  
たっぷりあるからな

クククッ……



録画  
できてるな？

ほら、懐かしの  
司令官殿にご挨拶しろ

んっあっ……しれえ……  
お久しぶり……

んっ……  
ですう……

雪風、しっかりと  
こちらでの任務を  
こなしてますよ



こっちの司令官様と  
とっても“相性”が  
良いみたいで

毎日かわいがって  
もらってます♡

んっ……♡

HEY!  
日本の駆逐艦は  
素晴らしいよ!

特にこの  
ユキカゼはね!

あっ……今はダメですよ  
しれえに見られちゃう……



HAHAHA!  
何すましてるのさ!

いつもみたいに  
いいだろお?

だっだめ♡

直接イジっちゃ……  
あ……イ……イクっ……

イクう……♡







ほら

オレたちの  
ライフワークを  
見せつけて  
やろうぜ!

あ...

あっ

しっかり見てろよ  
チキンボーイ!

時には強引に  
いくことも  
重要なのさ!

ボ

ロニ



だめだめえっ

うあああっ!

はっ

最初はギチギチだったが  
今じゃすっかり馴染んで  
オレ専用の秘書艦さ!

知ってたか?  
コイツ、ペニスを挿したまま  
腹を刺激してやると  
子犬みたいな鳴き声あげて  
いきまくるんだぜ!

我慢でき...

それ

ひっ

ってああ、そうか  
チキンボーイの  
不能ペニスじゃ  
知るわけがないか

HA!

HAHA!



はっ...

しれえ...

雪風、ちゃんとして  
秘書艦のお仕事  
できてますよ

司令官様のもとで  
いっぱい勉強させて  
もらってます





コイツ、もう  
オレのペニス以外  
考えられないってさ！

アンタの使えない  
ペニスより  
オレのほうが  
いいんだとよ！

あっ♡  
だめえ♡

それ  
言わないって♡  
約束だったのにな♡

本当のことだから  
いいだろ？

それとも  
もうやめるか？

あつやだつ  
続けてくださいっ♡

るるるる……

それなら  
オレのほうが  
いいって言え

あ……う……♡

ほら  
早くしろ

……う♡

しれえより……

“あなた”のほうが…  
いっぱい愛して  
くれるから……

すきい……♡

よしよし  
素直で  
いい子だ

ああんっ♡

ああんっ♡









素晴らしい艦娘を  
贈ってくれて  
ありがとうな！

こいつはオレが  
しっかり  
養ってやるからよ！

ああ、  
それと

来月の披露宴には  
ついでにお前も  
招待してやるからさ

楽しみに  
してな！  
KAKAHA!

あ……うう……

しれ……え



なんだア？  
まだ前の男に  
未練があるのか？

オレのほうが  
お前を満足  
させられるって  
もっと分らせて  
やらないといけない  
みたいだなあ！

ちがっ……  
待って  
いまいったばかり  
だから……

ああああっ！！



……ッ！



て、提督……

これ……  
どういうことなの……？

まさか雪風が……  
そんな……っ

to be continued...



2020/05/03  
KanColle Fanbook

『信じて送り出した雪風が  
外国人司令官に寝取られる話』

印刷：ねこのしっぽ様

発行日：2020/05/03  
発行：しろくろうさ  
責任：スギユウ  
連絡先：yuu\_819\_as@hotmail.com

